

ウクライナへ127万円

岐阜信金ユニセフに寄せる

ロシアによるウクライナ
侵攻で被害を受ける子ども
や家族の支援に役立てても

らおと、岐阜信用金庫は
1日、取引先企業が発行し
た私募債総額の0・1%に
当たる127万円を、県ユ
ニセフ協会に寄付した。

同金庫は今年5に「ぎふ
しんSDGs私募債」の取
り扱いを開始。9月までに、
ウクライナ支援に賛同した

岐阜、愛知県の企業21社が
計12億7千万円の私募債を
発行した。取り扱い当初の
予定通り、0・1%相当額



吉田和弘会長に目録を手渡す
好岡政宏理事長(右)＝岐阜市
柳戸、岐阜大

の127万円をユニセフの
「ウクライナ緊急募金」に
送ることにした。

岐阜市柳戸の岐阜大で贈
呈式があり、同金庫の好岡
政宏理事長が「侵攻が続き、
罪のない子どもが犠牲にな
り胸を痛めている。この活
動が、少しでもウクライナ
の子どもたちの笑顔につな
がることを願う」と述べ、
県ユニセフ協会の吉田和弘
会長(岐阜大学長)に目録
を手渡した。吉田会長は「岐
阜信用金庫の尊く貴重な意
思を大切にしたい。大学
としても、世界の人たちを
支援する人材を育てたい」
と感謝した。(山本貴史)